



※一般質問の部長答弁は色分けしています。

環境経済部長	………	部長	都市建設部長	………	部長	こども・健康部長	…	部長
経営政策部長	………	部長	市民福祉部長	………	部長	教育部長	………	部長

6月定例会一般質問通告一覧表

個人質問													代表質問																												
2 1	情報アクセシビリティ及び意思疎通支援について 自治体DX及び業務改革推進と市民サービス向上について	大場 美紀	2 1	高齢者の居場所づくりと健康支援について 児童生徒の多様な学びと進路支援について	川野 悦子	2 1	生成AIの活用について 投票率アップに対する市の考え方を問う	佐藤 源	1	若者に選ばれるまちづくりについて	田中 和男	2 1	「第三の学び場」事業について 小・中学校の教職員の配置の状況について	大塚 光	1	小・中学校の体育館におけるエアコンの設置について	後藤 理恵	1	市民の政治参加について	高崎 裕人	2 1	ナフサ不足による小都市の事業や市内の業者への影響について 国民健康保険について	河野 祥子	2 1	屋外スポーツ施設の維持管理と利用環境整備について 災害リスクを見据えた地域農業の維持について	若菜 久徳	2 1	宝満川支流河川の治水対策について 防火水槽の維持管理について	内山 伸博	2 1	「小都市こども計画」に基づく教育・子育て予算の拡充について 外国人人口急増に伴う今後の市政運営と施策の優先順位について	行平 佳弘	2 1	スーパーマーケット撤退問題 空き家について	松野 美雪	2 1	子宮頸がんワクチン接種促進と2回接種制度について 高齢化を踏まえた投票環境と主権者教育の充実	甲斐田典彦	2 1	都市計画道路整備の現状と課題について 地域の課題解決に向けた取り組みについて	黒岩 重彦

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。



みらいの会
黒岩 重彦



議員
都市計画道路整備の
現状と課題は何か

市長 現在、市南西部を縦断する下町・西福童16号線4期事業の整備を行っており、

次にその北側の5期区間の整備を予定している。

縦の路線で交通渋滞している
ので加速しての整備は。

部長 筑紫祇園線は、都市計画道路整備プログラムでも短期路線となっており、次に整備していく路線としては有力と考えている。

規制緩和の考えは。

市の高校1年生、中学1年生の初回接種率を問う。

部長 高校1年生相当46・8%、中学1年生は18・2%で全国平均と比べ低い。

接種率向上の取り組みは、いつ頃までに、どのような形で進めるのか。

部長 夏休み中に1回目の接種を促すため、中学2年生へ勧奨案内を通知する考えだ。

部長 建築許可基準の規制緩和は、他の自治体では事例はあるが、現時点では将来の財政負担増や、事業進捗の影響もあり考えていない。

議員
地域の課題解決に向けた取り組みは

市長 地域の声を丁寧に向い、緊急性、安全性、公共性、整備効果などを総合的に勘案しながら、課題解決に取り組んでいく。

校区要望事項と行政区要望の違いは。

部長 校区が抱えている課題の最優先事項なので、その校区から1件あがってきた事項については、きちんと事業を行っていく。

校区要望は小学校校区なのか中学校校区なのか。

副市長 三国校区の区長会は、中学校校区で決めているので

2回接種の負担軽減を問う。

部長 接種が3回と2回とでは約2万7千円の公費が軽減。通院の回数が少なく済み、接種率向上にも繋がる。

議員
高齢者の投票と主権者教育の充実を問う

市長 期日前投票所の増設を高齢化・共働きに考慮し利便性向上を図る検討が必要。

主権者教育の充実を問う。

教育長 こどもの権利条例を踏まえ、主体的に社会と関わりを深めるよう充実を図る。学校での主権者教育の具体的な取り組みを問う。

教育長 中学は公民学習や生徒会選挙、小学は模擬投票等を通じ主権者教育と社会参画の学びに力を入れている。

買物ついでに、親子で行きやすい投票所設置の検討は。



市長 イオン小郡店より協力の言葉があり、市は準備を進め実現を目指し努力する。



地域課題解決に向けた
取り組みは住民目線で!!

一つの校区区長会と捉えており、小学校区になれば、その時点でも対応していく。

市長 ともに寄り添いあうま
ちを基本目標とし、今後も
こどもの権利条例とこども

議員
子育て予算拡充への
市長の政治姿勢は

参政党
行平 佳弘



市長 地域住民の皆様の利便
性向上と駅前のにぎわいの
創出に引き続き取り組んで

議員
三国が丘駅前スーパ
ー撤退問題を問う

松野 美雪



いく考えである。

**小売店が撤退した地域の買
物弱者や高齢者への影響は。**

部長 令和5年実施の無作為
抽出した千人へのアンケー
トでは、65歳以上の4%が
自分で買物できないと回答
している。特に三国が丘駅
東側では、スーパー撤退に
より買物に不便を感じると
の声があり、少なからず影
響があると認識している。

計画に基づいた具体的な取
組を推進していく考えだ。

**給食無償化で質と量は保た
れるか。**

部長 物価高騰が続いている
が、可能な限り地場産野菜
を活用できるよう工夫し、
必要な栄養が摂取できる給
食を提供し、質と量を担保
する。

小学校体育館への空調設置

**地域主体の移動店舗等の提
案に対しての支援は。**

副市長 地域の皆さんが立ち上
がれば、車両の支援はでき
る。

議員
空き家についての実
態把握と対応状況は

市長 空き家の増加による地
域の防災、防犯、環境など
へのリスク対策は、今後も
関係機関とも連携をして進
めていく。

の計画は。

部長 中学校を先行し、小学
校は令和15年までのできる
限り早い段階で設置できる
よう検討を進める。

議員
外国人人口急増への
今後の市政運営は

市長 外国籍の市民の数は、
1943人で重要な役割を
担う存在であるが、培われ
てきた地域社会の安心安全
を守り、日本人を含む全て

**管理不全空家、特定空家の
推計数は。**

部長 令和5年度調査では、
小郡市の空き家の推計数は
2230戸となっている。

**空家問題を一元的に担当
するプロジェクトチームが
必要ではないか。**

副市長 一元化や体制強化は課
題と認識しているが、国税
の話であり、課題解決がで

の市民が安心して暮らせる
共生社会の実現を目指す。

**総合振興計画の多文化共生
の指標に日本人市民の声を
入れるか。**

部長 日本人市民の視点がない
ことは課題であり、双方
の視点を反映できるよう検
討していく。

**外国籍の市民増加への全庁
的な連携体制は。**

きてないという苦しいこ
ろである。



駅前に再び地域の賑わいを

部長 各課が連携して苦情等
に対応し、文化交流や地域
活動にも取り組んでいる。



小学校で子どもたちが食べている給食



おごおり創志会
内山 伸博



議員
宝満川支流河川の先行排水について問う

市長 大雨前に河川やため池の水位を低下させる先行排水は、令和4年度から取組

みを始め、現在のはため池や中小河川、幹線水路に及ぶまで農業関係者の協力の下に段階的に広げている。

田んぼダムの効果は。

部長 田んぼダムの効果は、水路の水位上昇を緩やかにし、下流域の浸水被害軽減に繋がるものである。

支流河川の先行排水状況は。

管理し、大規模な改修は計画的に対応している。

利用者の要望をどう反映するか。

部長 現地を確認し、必要に応じ修繕や対応を行う。

ネーミングライツや民間連携による財源確保の考えは。

部長 手法の一つとして、ネーミングライツ導入効果な

部長 支流河川の先行排水は、堰の管理者を対象に説明会を実施し、管理者にご理解とご協力をいただき、令和6年度から取組んでいる。

議員
私設防火水槽の現状把握について問う

市長 市以外の防火水槽についても、定期点検の対象としており状況を把握し管理が不十分な場合、管理者に対し、その都度、適切な管

理を指導している。

何故、市に帰属されていないのか。

部長 市への寄附を望まれない、区で維持したり、私設での維持を望まれたりしている。寄附を望んでも、消防水利の基準を満たしていないことが考えられる。

把握している私設の分は、何箇所くらいあるのか。

災害が地域農業に与える影響は。

部長 災害は離農や営農断念につながる恐れがある。

離農や営農断念をどう防ぐか。

部長 県と連携し、早期再建と事前防災を進める。

地域農業を次世代へつなぐには。

部長 防火水槽が公設・私設合わせて291基、内私設は73基となっている。



柵が老朽化した私設防火水槽

部長 担い手育成と収益確保で地域農業を支える。



誰もが利用しやすい施設へ

部長 二十数年低下傾向にあり選挙離れが起きている。今回も下がり残念だ。

議員 今回の小郡市議選の投票率の受け止めは

国民民主党
高崎 裕人



投票率は特に若年層が低い傾向にあるが、どのような

部長 現在は予定しておらず、必要に応じて対応する。

投票率向上のために、調査や分析を行う予定は。

部長 今回も目標設定はしていなかった。

投票率の目標は設定していたのか。

部長 期日前投票は大型商業施設等、様々な方法について、今後検討していきたい。

他市では、移動式期日前投票所を導入しているが、本市では公平な投票の機会の提供はどのように考えているのか。

部長 SNSを活用する必要があると考えている。

啓発を行っているか。

市民のニーズや市の課題を把握するため、分野別の件数の公表はしないのか。

部長 インターネットを通じて、寄せられたものについては丁寧に回答している。

市民の声を市政に届ける仕組みの充実について、市HPに「市長への手紙」があるが現在どのような運用がされているのか。

部長 HPをリニューアル予定なので、その中で検討していきたい。



市長 市内の事業者は材料の入荷困難や、価格上昇など影響が生じている。

議員 ナフサ不足の小郡市への影響は

日本共産党
河野 祥子



農家への影響はあるか。

部長 ゴミ袋は常時5か月分ほど、確保しているので安定供給できる。

ゴミ袋が不足し、値上げするの。

部長 原料が2倍以上に高騰している。

市指定のゴミ袋のコストは上がったのか。

市長 国保財政は概ね黒字収支を維持、一人当たりの負担額は県内平均的、制度の安定や持続可能な運営に努めていきたい。

議員 国民健康保険制度について問う

部長 特別相談窓口を設置。

国や県の対応は。

部長 農業用ビニールの一部在庫切れや入荷遅れがある。

部長 市の窓口等で加入者の

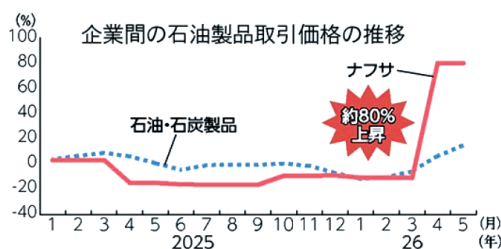
収入の高い方が、最低限の社会保険料で済ますような事例は市でわかるのか。

部長 65歳以上が42%。

加入者の年齢構成は。

部長 所得200万円以下が72%。

国保加入者の所得の現状は。



実態を把握することは困難である。



後藤 理恵



議員
小・中学校の体育館
のエアコン設置は

市長 まずは中学校の体育館から整備を行う予定で、今年度は実施計画を秋までに

小学校こそ優先度が高いのではないか。

いつ小学校の設計に着手するのか。

副市長 明言はできない。すことができるか。

行い、来年度中に工事に着手する予定だ。また、小学校については、国の有利な補助を活用できる令和15年度までに、できるだけ早期に整備をしていく予定としている。

部長 小・中学校13校の一斉整備は財政面も事務事業量の面も厳しいため、中学校を先行して進めている。

中学校が先、小学校は未定という状況か。

防災関連の面で考慮はされたのか。

部長 中学校は特に部活動で放課後、土日、夏休み等も使っているため。

副市長 災害時に体育館だけでなく教室を開放する運用も含め、対応を協議する。

副市長 実施時期が明確になり次第、速やかに議員の皆様へ報告する。



すめている。

居場所づくりの想定は。

部長 産休・育休の取得率は上がってきている。

務の見直し改善を計画的に進めている。

メタバース空間をどのような形で導入するか。

部長 こどもから高齢者までを対象とした事業を展開していくことを検討中。

講師や支援員の募集は。

部長 メタバース空間で、りんく小郡とつなぎ、検討を重ねる学校に広げていきたい。

議員
本年度小・中学校の
教職員配置状況は

部長 実際に働いている方への声かけや、市のホームページ、学校にも相談の上、幅広く探している。

議員
第三の学び場事業の
構想と進捗状況は



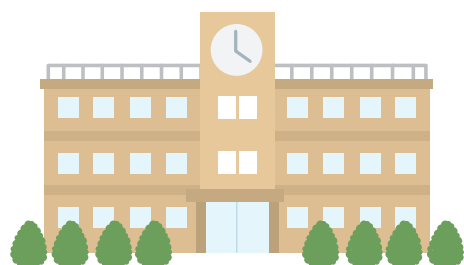
部長 滞在型多機能図書館を目指し、現在取組んでいる。

教育長 基準定数は確保できたが産休・育休・病休などにより、一部未配置はある。

欠員があつた時の配慮は。

教育長 不登校対策、図書館改革、あらゆる世代の居場所づくりの三分野で取組をす

教育長 特別の負担軽減措置は難しい。市全体の視点で業



市長 事務の効率化や生産性向上につながると考えている。利用ガイドラインを作る。

議員 生成AIをどのように活用していくのか

おごおり創志会
佐藤 源



市長 小都市の人口動態の傾向として自然減の拡大、20歳代の転出超過の状況がある。

議員 若者に選ばれるまちづくりについて問う

田中 和男



若年層については、就学そして就職の影響が大きく、若年層の流出が続けば、地域の担い手の減少、将来の出生数や税収基盤などに影響が生じかねない課題であると認識している。

市が実施している若者定住対策について尋ねる。

部長 小都市で魅力的に暮らせると感じるような環境を高めていく視点が必要と考

成し、本年度より全庁的に本格導入を行っている。

どこから導入したのか。

部長 案内文等の作成。議事録の要約。企画のアイデア出し。法令解釈の検索などに使用している。

学校現場での活用はできているか。

教育長 研修や会議資料の作成。

えている。土地の用途の見直しによる住環境の整備、子育てしやすい環境の整備等に努め、このような施策が若者の目に止まるようなSNSを活用した情報発信も、今以上に行っていく必要があると考えている。

若者の定住促進、地域活性化を図る観点から空き家や空き店舗をアトリエやギャラリーとして活用するなどの考えはないか。

保護者宛ての文書の原案作成。授業の教材資料の作成などに利用している。一方、こどもたちは本格活用には至っていないが、活用が徐々に広がっている。

議員 投票率アップに対する市の考え方は

市長 投票率は低下傾向にあり、全国的にも課題になっている。様々な啓発活動を行い、投票率の向上を目指している。

部長 若者定住策の一つの視点として受け止め、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

コストコとの連携による市の魅力発信やシティブロモーションの強化は。

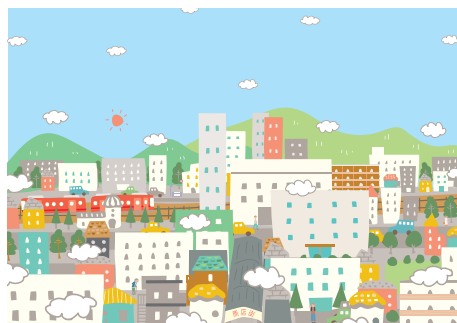
市長 例えば、観光農園とかでコストコのカードを持つて来ると特典があるというような形で工夫されているところもある。様々な形で

期日前投票所を今の生涯学習センターだけでなく、イオンと同時に開ける協議をしているのか。

部長 生涯学習センターは期日前投票所として残して、大型商業施設に数日間、期日前投票所ができないのか考えている。

二重投票の問題はどのようにクリアするのか。

交流人口の広がりを持たせていくことが大事なポイントになる。



若者が住みたいと思えるまちづくりを！

部長 投票したかどうか分かるネットワークの設定を考えている。



生成AIの利用で業務の効率化を



川野 悦子
おごおり創志会



議員
高齢者の居場所と健康づくりの方向性は

市長 協定締結を契機に、他の民間事業者に呼びかけ協力を得、積極的に進めたい。

重層的支援体制整備事業の参加支援は。

部長 地域資源を必要にに応じて活用し、外出のきっかけになればと考えている。

参加者にとっての利点は。

部長 おごおり健康・介護予防ポイント事業の対象として、友人、知人と気軽に楽しみながら、参加できるきっかけづくりを考えている。

高齢者への周知方法は。

部長 見守り支援台帳の登録対象者に登録案内を郵送する際、取組みや他の事業案内も同封し周知啓発を図る。

議員
児童生徒の進路支援の今後の方向性は

教育長 こどもたちが希望を持つて前に進み、自分の良さを輝かせて幸せな未来を生きていけるよう、学校や保護者、地域、専門機関等の

連携、支援体制を整え、学びの多様化に係る支援を進めていく。

専門性のある進路支援が必要だと思うが、考えは。

教育長 他市等で先進的な人材活用例があれば成果と課題を聞きながら検討していきたい。

今後、どのような考えで教育行政を進めていくのか。

教育長 個別最適な学びの環境をつくることを、しっかりと実現していきたい。



高齢者の居場所と健康づくり



大場 美紀
おごおり創志会



議員
手話言語条例制定の進捗状況は

部長 早期の制定を目指し、関係者、関係団体と調整を図っていききたい。

障害者情報アクセシビリティ推進法や、合理的配慮に関する職員研修を行っているか。

部長 職員全体に関しての研修実績はない。手話言語条例制定後、人事担当と連携・協議し実施していききたい。

受付窓口や図書館などへのコミュニケーションボードは設置しているか。

部長 現在は、市役所窓口等に未設置だが、他自治体や当事者の声を参考に設置へ向けて検討していく。

議員
自治体DXと業務改革でサービス向上は

市長 デジタル技術の活用により住民の利便性を向上させる。業務効率化により、人的資源を市民サービス向上へつなげる。

業務を効率化して集約できた人材を、どのように活用するの。

部長 相談業務の充実や新たな行政課題への体制づくりに充てている。

危機管理等についてどのように考え整備しているか。

部長 情報セキュリティポリシー基本方針を策定している。本方針に則り、情報の

システム健全化と安全体制に努めていく。

